

一宮市

ウォークアブル空間デザイン
プロジェクト

一宮市まちなかウォークアブル社会実験
ストリートチャレンジ2023
出展募集 説明会

NPO法人 志民連いちのみや

ご説明の流れ

1. 一宮ウォークアブル空間デザインプロジェクトについて
2. 過去2回の社会実験の様子 ※ショートムービー視聴
3. 今年度の募集内容について

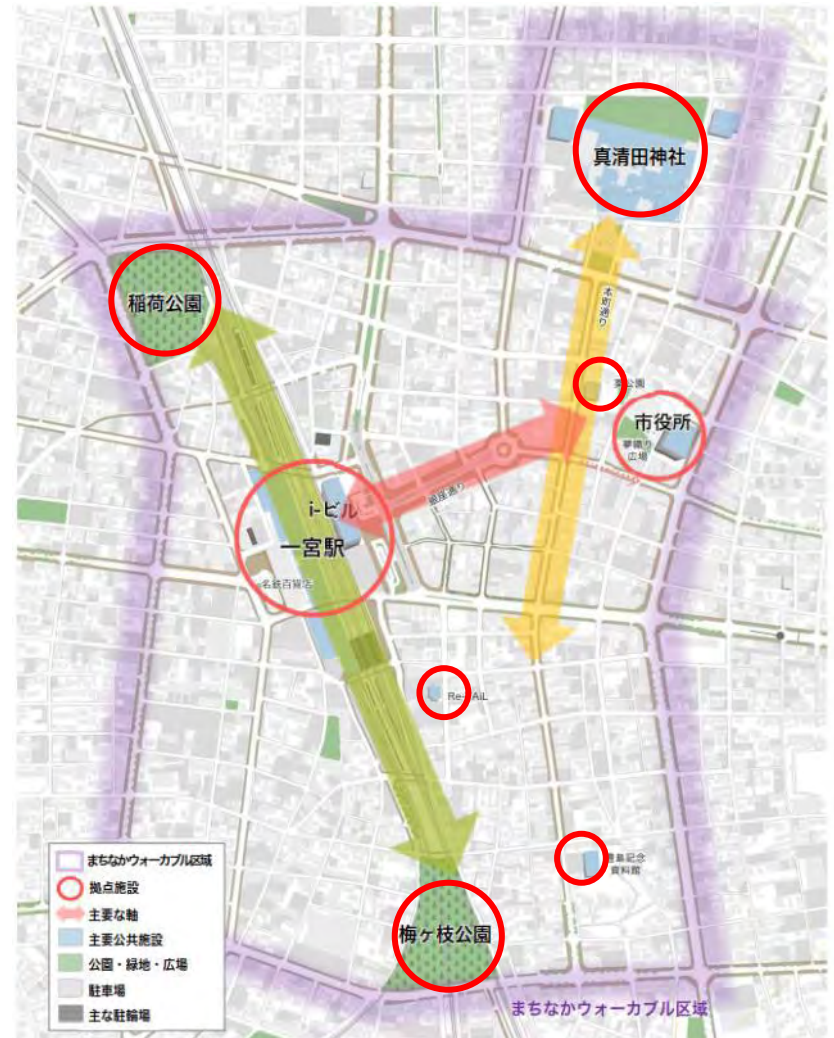
1. 一宮ウォークアブル 空間デザインプロジェクトとは

○プロジェクトの目的

一宮駅周辺約1km圏内において居心地が良く歩きたくなるまちなかを創出するため、道路、駅前広場、公園及び駅前ビル等の既存ストックのリノベーションにより

人が主役となる豊かな日々の生活を実現するまちづくり

都市の多様性・生産性の向上によるまちのアップデート



まちなかの危機

- 一宮総合駅は、1日約9万人が乗降する駅であるにも関わらず、駅からまちへの人の流れが非常に乏しいです。
- 2020年度の市政アンケートでは、回答者の約8割がまちなかには賑わいを感じておらず、居心地の良さや親しみを感している市民も過半数に満たず、危機的な状況です。

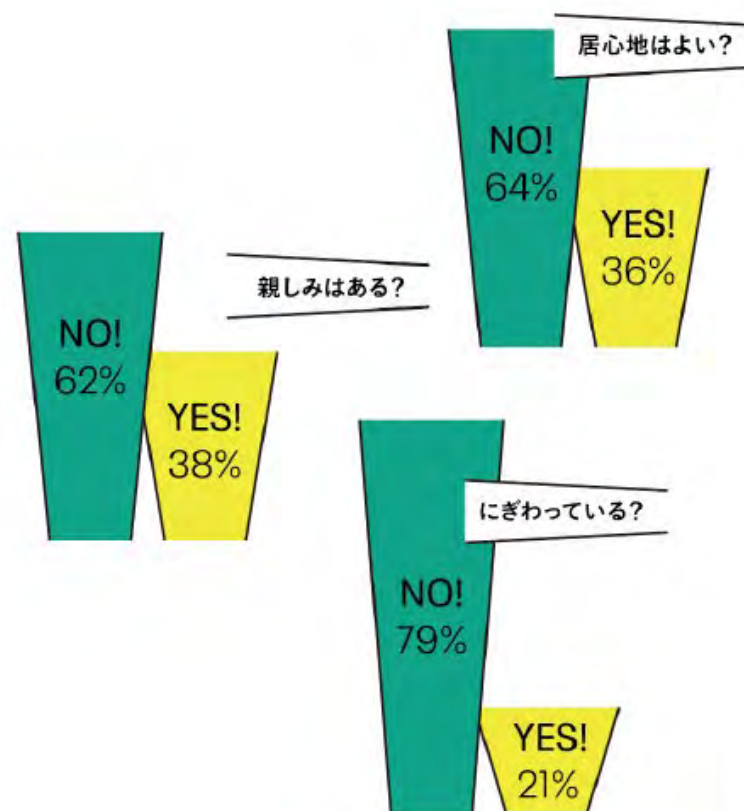
銀座通りの昼間



本町通りの昼間

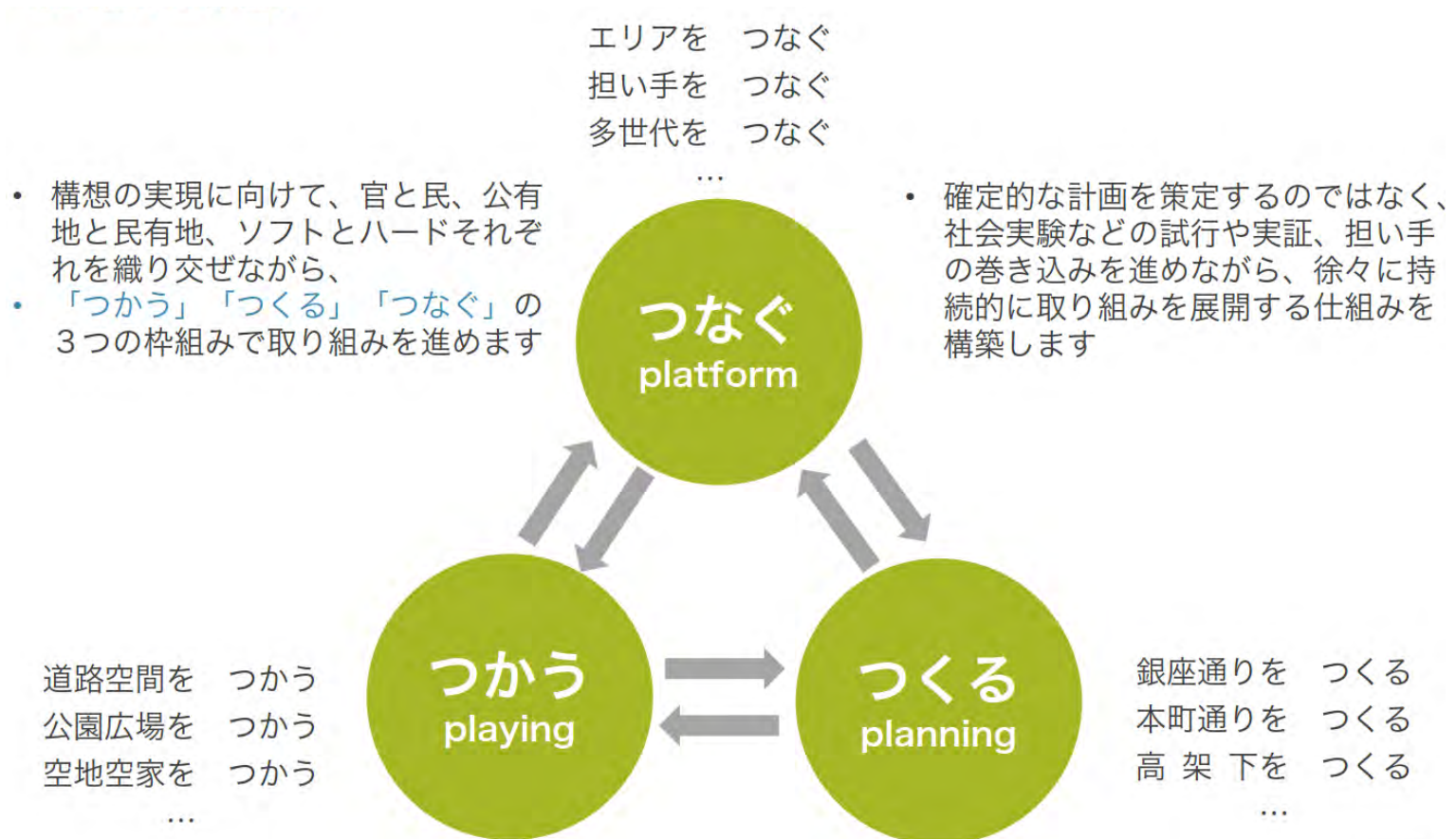


みどりが少なく駐車場や車道、自動車が多い中心の空間



1. 一宮ウォークラブル空間 デザインプロジェクトとは

道路・公園・広場、空き地・空き家など
既存ストックの有効活用や、魅力的なリノベーション



まちなかの強みと弱み

**カタチ（器）だけでは魅力的にならない
ナカミ（コンテンツ）の可能性を探る**

まちなかの再生に向けた問いの設定

まちなかの強み

- ① 織り重なる歴史と文化
- ② 一宮市の玄関口
- ③ 進む都心居住

まちなかの弱み

- ① 少ない日中の滞在人口
- ② 市民のまちなかへの関わり方の薄さ
- ③ 多い低未利用地と少ない歩行者空間

まちなかの再生に向けた問いの設定

1. "市"の文化や歴史を活かしポテンシャルを発揮するには？

- ・まちなかは、古代から一宮の玄関口として、真清田神社や三八市から連なる歴史と立地を有した場所
- ・本来の「市」のように新しいモノやコト、人に出会い、発見できる場となれば、人の回遊が生まれるのでは？

2. まちなかに興味や関わりを持つ方を増やすには？

- ・まちなかの賑わいや魅力を高めるには、市内外の様々な人がまちなかに興味をもち、関わってもらうことが大事
- ・まちなかの資源に魅力を感じる方が、ビジネスや活動、挑戦が行いやすい環境を作れば市民の関わりが増えるのでは？

3. 居心地の良い公共空間が人の滞在を促すのでは？

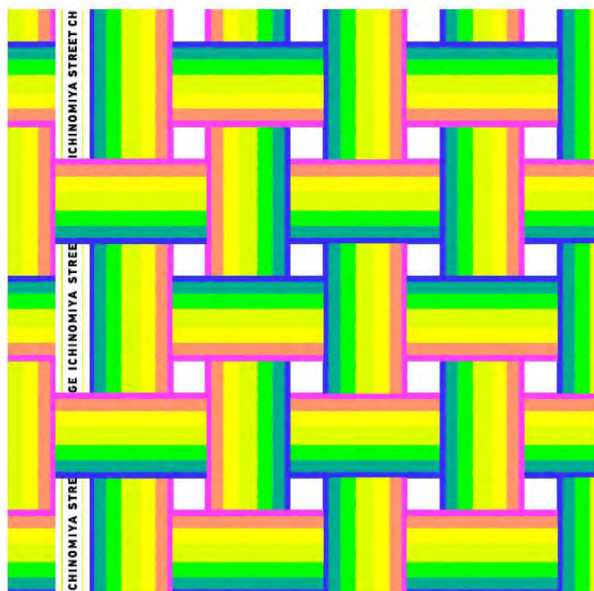
- ・現在のまちなかは、広い歩道や歩行者専用時間があるにも関わらず、立ち寄りたり休んだりする場所が少ない
- ・まずは住む人暮らす人にとって、居心地の良い滞在環境を整えれば、人の滞在が増えるのでは？

社会実験による検証

社会実験で得た手ごたえ

一宮市ウォーカブル社会実験 ストリートチャレンジ

- 銀座通りの通行止めを中心に、まちなかの道路や公園、広場などの公共空間を開放し、市内でアイデアを持つ様々な団体に活用してもらった社会実験を2021年、2022年に実施しました。
- 社会実験に合わせて、銀座通りや本町通りの路上にベンチを設置し、滞在性向上による検証も行っています。



まちなかウォーカブル社会実験
ストリートチャレンジ



社会実験で得た手ごたえ

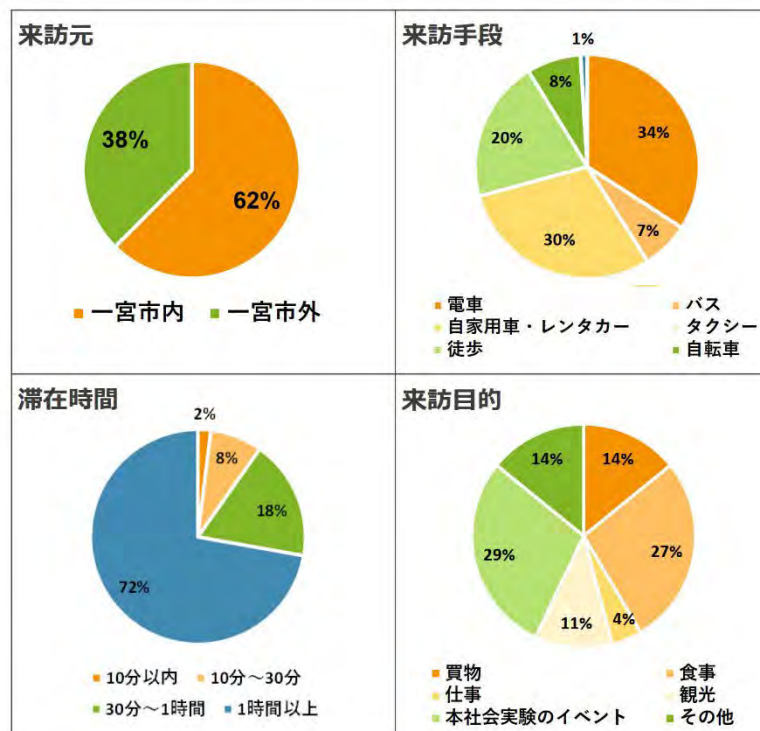
①まちなかのポテンシャルの再発見

- 3日間の通行止め時は銀座通りと本町通り合わせて18,000人（2022年）の歩行者が訪れました。
- 市外からの来訪者、公共交通利用者がそれぞれ4割と、幅広いエリアからお越しいただくとともに、3日間のプログラム売上が1,000万円に上るなど、経済活動基盤としてのまちなかのポテンシャルが確認できました。

通行止め期間の歩行者数

	2021 (10/22-24)		2022 (10/7-9)
金曜夜	1,487	➔	1,516 2%増加
土曜	2,764	➔	9,755 253%増加
日曜	4,997	➔	7,279 46%増加
合計	9,248	➔	18,550 101%増加

通行止め3日間の来訪者属性・滞在行動

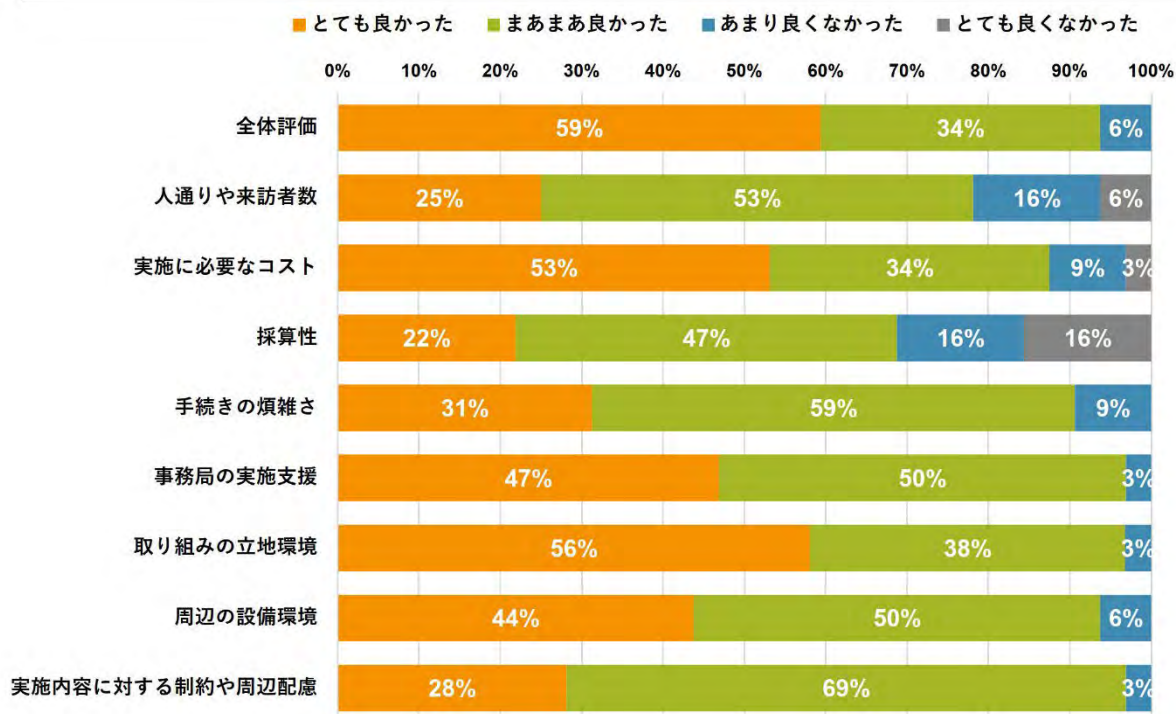


社会実験で得た手ごたえ

②一宮市内の豊富な魅力と活動の巻き込み

- 2021年には19団体、2022年には30団体が参加し、市内の多様な活動がまちなかに集結しました。
- 参加団体の9割がまちなかの立地や設備、周辺環境が「よかった」と回答し、まちなかに興味を持っています。
- 2022年には通行止3日間だけでなく、その他の休日での展開も見られ、活動が日常にも広がりつつあります。

参加団体による社会実験の評価（2022年）



平常時の取り組み例



社会実験で得た手ごたえ

② 一宮市内の豊富な魅力と活動の巻き込み

市内の様々なエリアから、多様かつ魅力的な活動やプログラムが集結

尾州産地の魅力と文化の発信



木曽川のマリンアクティビティ



木曽川流域らしい木育ワークショップ



繊維のまちのファッションショー



極楽寺公園で展開しているアウトドアマーケット



まちなかで継続的に展開するクラフトマーケット



社会実験で得た手ごたえ

③滞在性の向上が人通りを生む

- 銀座通りや本町通りに様々なベンチを設置することで、季節の良い10月（2022年）には1日あたり157名が、様々な目的でベンチを利用するなど、滞在性向上が通りに人の姿や流れを生むことが確認できました。
- ベンチや滞在する人がいることで通りの風景に好印象をもたらし、7割の方が風景が良くなったと回答しています。

社会実験で設置したベンチと1日あたりの利用者数



■ 2022年設置ベンチ

日平均利用者数：32名



■ 2021年設置ベンチ（屋根）

日平均利用者数：24名
（1基あたり）

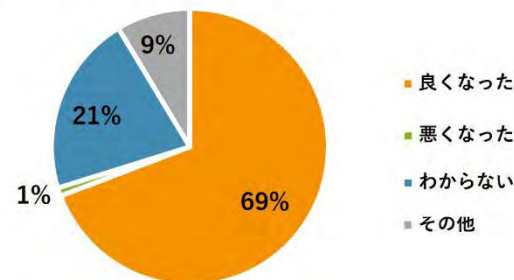


■ 2021年設置ベンチ（小型）

日平均利用者数：18名（銀座通り）
5名（本町通り）
（1基あたり）

ベンチ設置後の銀座通りの風景の評価

銀座通りの風景の変化



風景の評価に対する理由



社会実験で得た手ごたえ

③滞在性の向上が人通りを生む

- 銀座通りや本町通りに様々なベンチを設置することで、季節の良い10月（2022年）には1日あたり157名が、様々な目的でベンチを利用するなど、滞在性向上が通りに人の姿や流れを生むことが確認できました。
- ベンチや滞在する人がいることで通りの風景に好印象をもたらし、7割の方が風景が良くなったと回答しています。

社会実験で設置したベンチと1日あたりの利用者数



■ 2022年設置ベンチ

日平均利用者数：32名



■ 2021年設置ベンチ（屋根）

日平均利用者数：24名
（1基あたり）

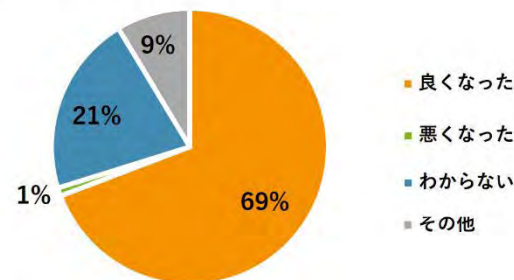


■ 2021年設置ベンチ（小型）

日平均利用者数：18名（銀座通り）
5名（本町通り）
（1基あたり）

ベンチ設置後の銀座通りの風景の評価

銀座通りの風景の変化



風景の評価に対する理由



社会実験で得た手ごたえ

③滞在性の向上が人通りを生む

ベンチがあることで生まれる様々な通りの風景や営み



未来のまちなかのイメージ

このイメージは、ワークショップで市民から頂いた未来のまちなかへの夢をもとに、市内のイラストレーターに描きこんでいただいたものです
今後、取り組みが進むとともにさらに充実していきたいと考えています

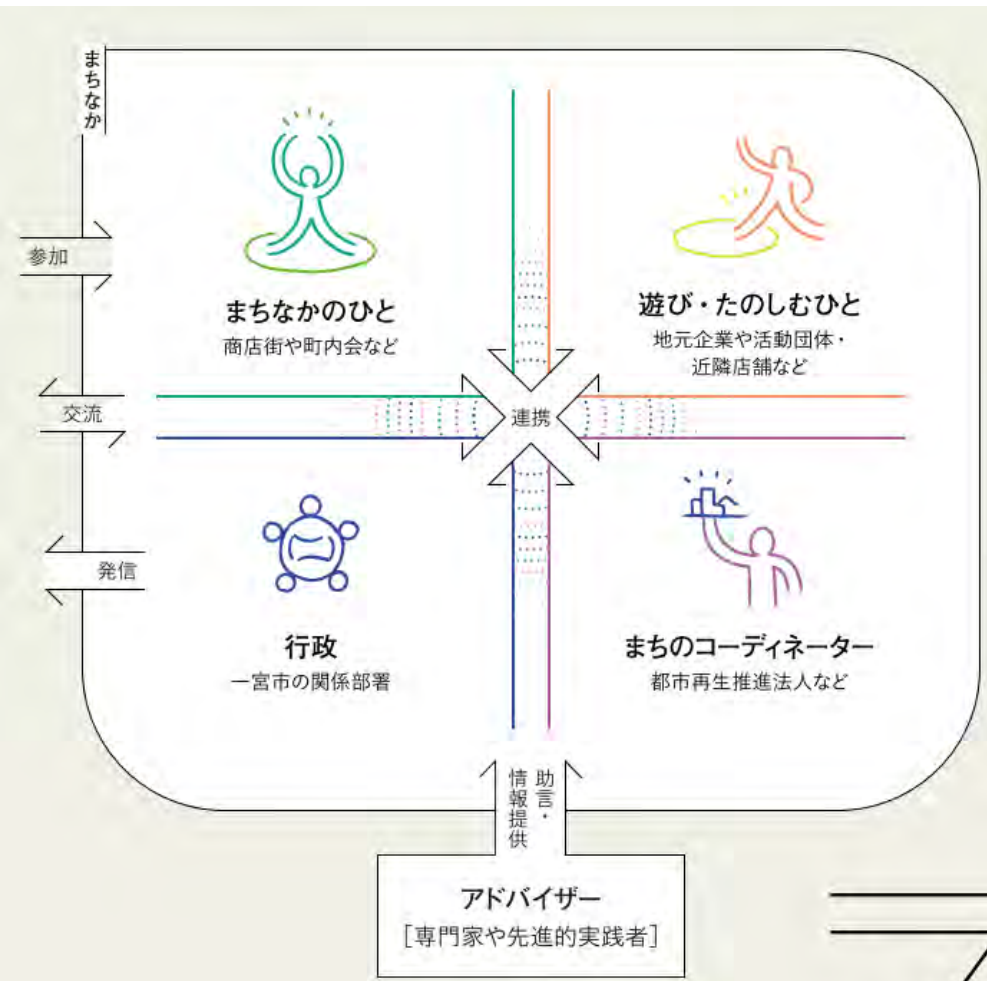
木曽川との
つながり



「一宮まちなか未来会議」

今年の社会実験の主催者

2022年6月27日設立



地域や行政、企業が一体となって
中心市街地に関する様々な取り組み
や情報を議論し、具体的な活動に
つなげていくための組織

地域の商店街・企業・メディア等が
中心となって設立、社会実験に参加
する市民活動団体や店舗なども会員

- ・「まちなか未来ビジョン」の提言
- ・公共空間の活用 (社会実験の実施)
- ・空き家・空き店舗の活用促進
- ・情報発信プロモーション

2. 過去2回の社会実験の様子

まちなかウォーカブル社会実験

【ストリートチャレンジ2021】

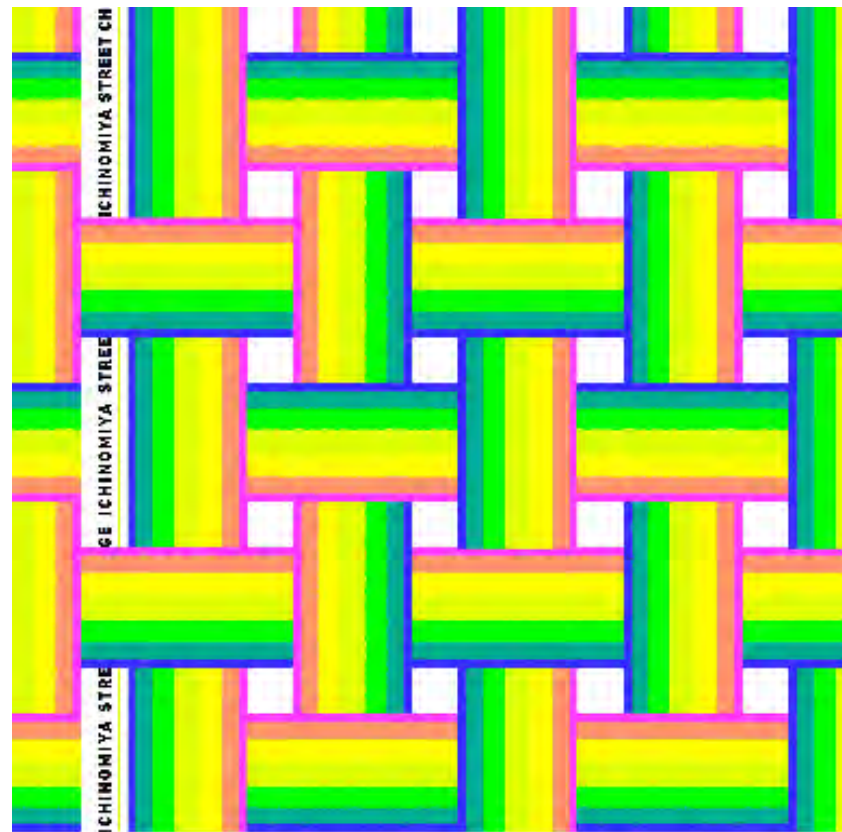
3 days : 10/22~24、ほか

【ストリートチャレンジ2022】

3 days : 10/7~9、ほか

ねらい

- まちなかをつかいこなす様々なプレイヤーを巻き込むきっかけを作りたい。
- まちなかの居心地の良さを改善することで、歩き訪れる人の数や滞在時間を増やしたい。
- 将来的に、今よりもっとまちなかが人中心の空間に転換するための可能性を探りたい。



まちなかウォーカブル社会実験

ストリートチャレンジ

2021 10.22|金| - 11.12 金|
Ichinomiya Street Challenge

2. 過去2回の社会実験の様子



2. 過去2回の社会実験の様子

ショートムービー

をご覧ください

3. 今年度の募集内容について

1. 社会実験の目的

① まちなかのポテンシャルの再発見

真清田神社や三八市から連なる一宮の中心地としての歴史と立地を有した場所、現代の「市」として新しいモノやコト、人に出会う場の魅力を新たな人の回遊が生まれる。

・社会実験（3days 相当）時の歩行者：2021 約9300 人 → 2022 約18600 人

② 一宮市内の豊富な魅力と活動との連携

まちなかの賑わいや魅力を高めるには、市内外の様々な人がまちなかに興味をもち、関わってもらうことが大事です。

・社会実験（3days 相当）時のプログラム実施者：2021 19 団体 → 2022 30 団体

③ 滞在性の向上が人通りを生む

現在のまちなかは、広い歩道や歩行者専用時間があるにも関わらず、立ち寄ったり休んだりする場所があまりありません。居心地の良い滞在環境を整えば、まちなかに滞在する人の数が増え、新しい出来事が生まれてくる。

・社会実験（3day 相当）時のアンケート：約7割の方がベンチがあることで風景が良くなった。

種別	ミライアクション3 days 一部車両通行止めを行って 全面的・集中的に行うチャレンジ	ミライアクション365days 特別な交通規制は行わず、日常 のまちなかで行うチャレンジ
実施 期間	2023年 11月 3日(金祝)、4日(土)、5日(日)	2023年4月1日(土) ～2024年3月31日(日)
対象エリアと 活動時間	銀座通り（車道）：9時～18時 銀座通り（歩道）：9時～18時 本町通り：9時～18時 公園や広場など：9時～18時	銀座通り（車道）：実施不可 銀座通り（歩道）：9時～18時 本町通り：11時～20時 公園や広場など：9時～18時
参加料 利用料	<p>社会実験の実施に関する条件等を満たせば無料</p> <p>※駅東駅前広場は商業活動など利用条件によって有償になります。</p>	
募集 活動	<ul style="list-style-type: none"> 個人での参加の場合は事務局と事前調整が必要です 他の地域イベントや施設管理者との調整等により実施できない場合があります。特に365days、七夕まつり、おいち祭り、など。 上記の条件以外で実施希望される方は事務局と事前調整が必要。 	

2. 概要（1）実施種別と概要の注釈

※★ ご注意（応募フォームの冒頭に記載）

マルシェなど複数の出店者があるイベントを主催・運営する団体等（ディレクター、プロデューサー的な存在）の募集を基本としています。

マルシェなどへの個々の参加者（個別出店者）の募集ではありません。

2. 実施場所

■銀座通り（車道）

【3 days】9時～18時

【365days】実施不可

■銀座通り（歩道）

【3 days】9時～18時

【365days】9時～18時

■本町通り

【3 days】9時～18時

【365days】11時～20時

（本町通1～4丁目商店街は普段から11～20時は車両通行止め）

■公園や広場など

【3 days】9時～18時

【365days】9時～18時



(2) 実施場所の使用条件

	最大継続 利用期間	車両 乗入れ	電源 設備	給水 設備	本来必要な 料金等
銀座通り (車道)	1日	可能	場合により 可能	不可	道路占用料 道路使用料
銀座通り (歩道)	要相談	場合により 可能	場合により 可能	不可	道路占用料 道路使用料
本町通り	1日	場合により 可能	場合により 可能	場合により 可能	道路占用料 道路使用料
公園 (葵、稲 荷、梅ヶ枝)	要相談	可能	場合により 可能	場合により 可能	公園使用料
宮前三八市 広場	1日	可能	可能	可能	電気・水道 料
夢織り広場	要相談	可能	不可	不可	使用不可
駅前広場	要相談	可能	場合により 可能	不可	要相談

3. (1) 募集内容

まちなかのにぎわいや新しい風景の創出、一宮市全体の活力創造やプロモーションにつながるさまざまな活動を募集します。

(具体的な活動の例示)

- ・ 一宮市らしいアクティビティや活動に関連したプロモーション
- ・ 道路や広場の滞在性、快適性を高める飲食や物販、マーケット
- ・ ワークショップ
- ・ スポーツやアクティビティに関する体験教室
- ・ インスタレーションやショー、アート展示など
- ・ 商店街と連携した活動
- ・ 面的なイベント企画 など

3. (2) 参加資格

本事業の目的に賛同するとともに、公共性・公益性を踏まえ、まちなかのにぎわい創出に寄与することが必要です。

(公共性・公益性)

・単に営利活動や収益事業であることだけでなく、まちなかのにぎわい形成や滞在性・回遊性向上に資する活動であること

- ・法令、条例、規則等に違反する活動でないこと
- ・公序良俗に反する行為でないこと
- ・宗教的活動又は政治的活動でないこと
- ・暴力団もしくは暴力団員の利益につながる活動でないこと
- ・特定の寄付金の募集、募金活動、勧誘行為ではないこと

3. (2) 参加資格

(参加資格)

- ・ 一宮市に在住や在勤在学、もしくは活動されている方で15歳以上の個人や団体
- ・ 活動に関する必要な許認可・免許等を有する方
- ・ メールや電話での連絡が可能な方
- ・ 過去に市主催イベント等でトラブルがない方

その他にも、募集要項を参照

4. 活動に対する支援内容

- ・ 道路や公園などの施設管理者や警察に関する許認可
ただし、個別に必要な許認可は、各自で行ってください
- ・ 地域関係者との調整や協議の実施者との連携
- ・ プログラムPRのためのSNSやウェブサイト公開

※個別出展の広報は原則各自で実施ください。

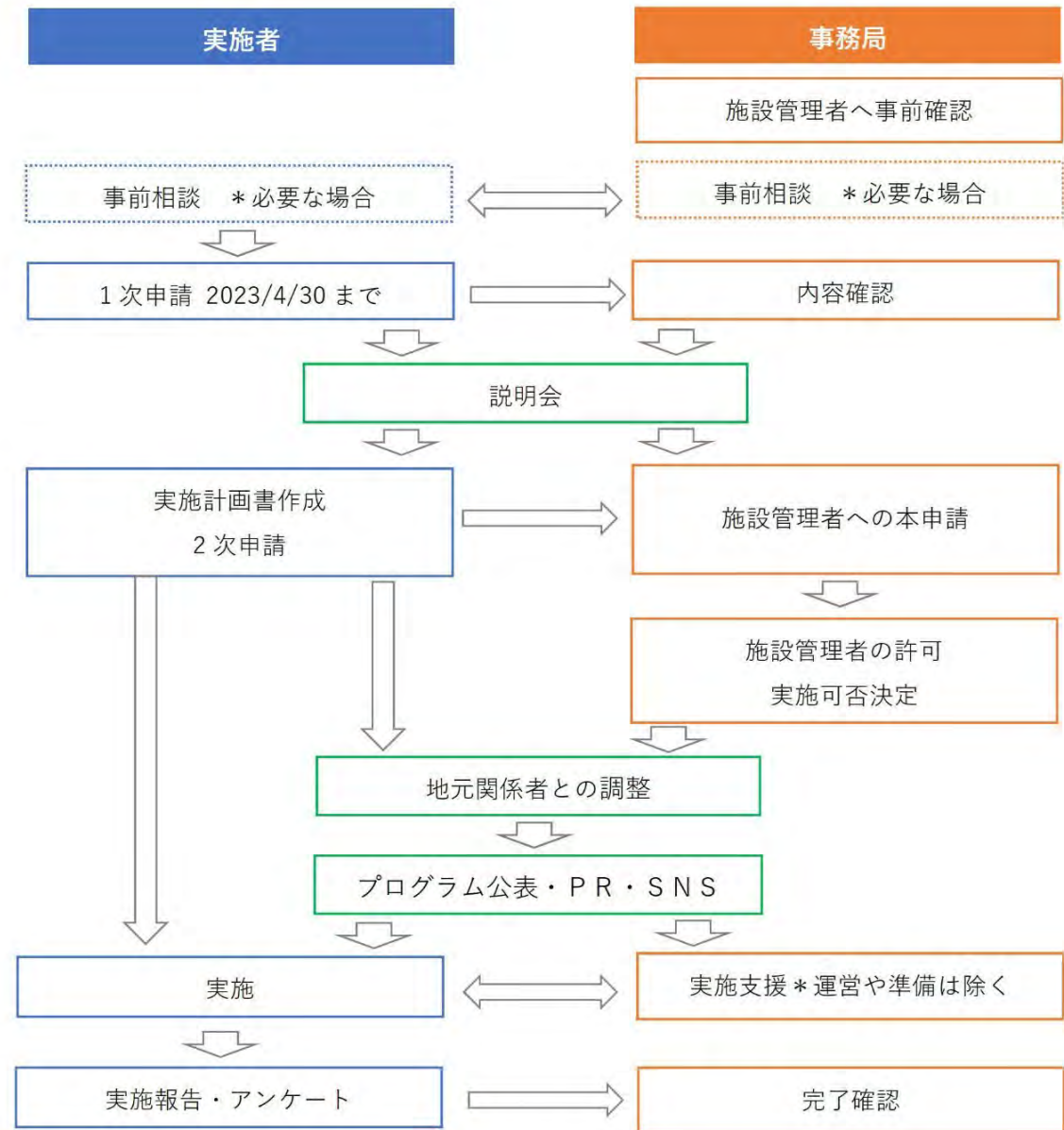
※全体の運営は行いますが、個別プログラムの当日運営や準備は行いません。

※プログラム実施に必要な資材は各自でご準備ください。

5. スケジュール【3 days】

- 募集4/30まで
(確認・調整※)
- ↓
- 連絡5月19日(金)
に結果を連絡予定
- ↓
- 実施計画書の提出
- ↓
- 地元調整、等
- ↓
- プログラム公表9月頃
- ↓
- 実施 (11/3~5)
- ↓
- 実施報告、アンケート

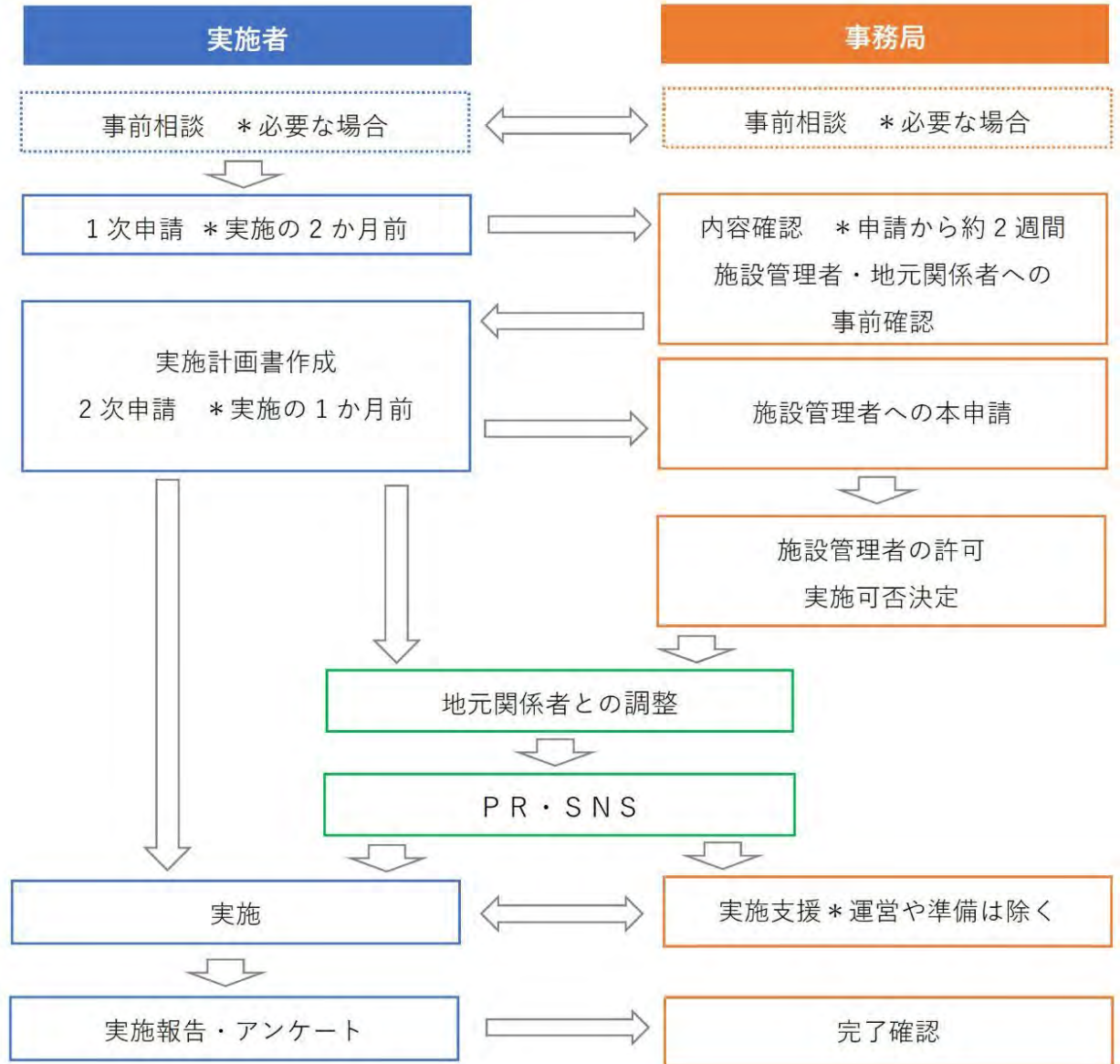
※他の応募内容と時間や場所が重複する場合、または関係機関との協議等の結果から、希望する応募内容や時期、場所について、事務局から企画変更を提案する場合があります。



5. スケジュール【365days】

- 1次申請は随時
- ※実施2カ月以上前
(確認・調整※)
- ↓
- 実施可能性の連絡
(申請後2週間を目途)
- ↓
- 実施計画書の提出
- ※実施1カ月以上前
- ↓
- 最終の地元調整、等
- ↓
- 実施(随時)
- ↓
- 実施報告、アンケート

※他の応募内容と時間や場所が重複する場合、または関係機関との協議等の結果から、希望する応募内容や時期、場所について、事務局から企画変更を提案する場合があります。



6. 応募方法・期限

応募は原則オンライン（パソコン、スマホ等）で
お願いします。

できない場合は問合せ先に事前に相談ください。

《オンラインの場合》

- ・以下のURLにアクセスしてご応募ください。

応募URL （2023年4月30日まで）

<https://forms.gle/BaakgyYdQn3FfUPp8>

右の二次元コードからもアクセスできます。

応募フォーム



7. 問合せ先

相談内容のすれ違いを避けるため、電話での対応を原則受けてはおりません。お問い合わせは、全てメールでお願いします。

E-mail : info.iwsdp@gmail.com

主 催：一宮まちなか未来会議

事務局：特定非営利活動法人志民連いちのみや

協 力：一宮市まちづくり部都市計画課

：NEAコンソーシアム（代表 大日本コンサルタント(株)）

：ambientdesigns

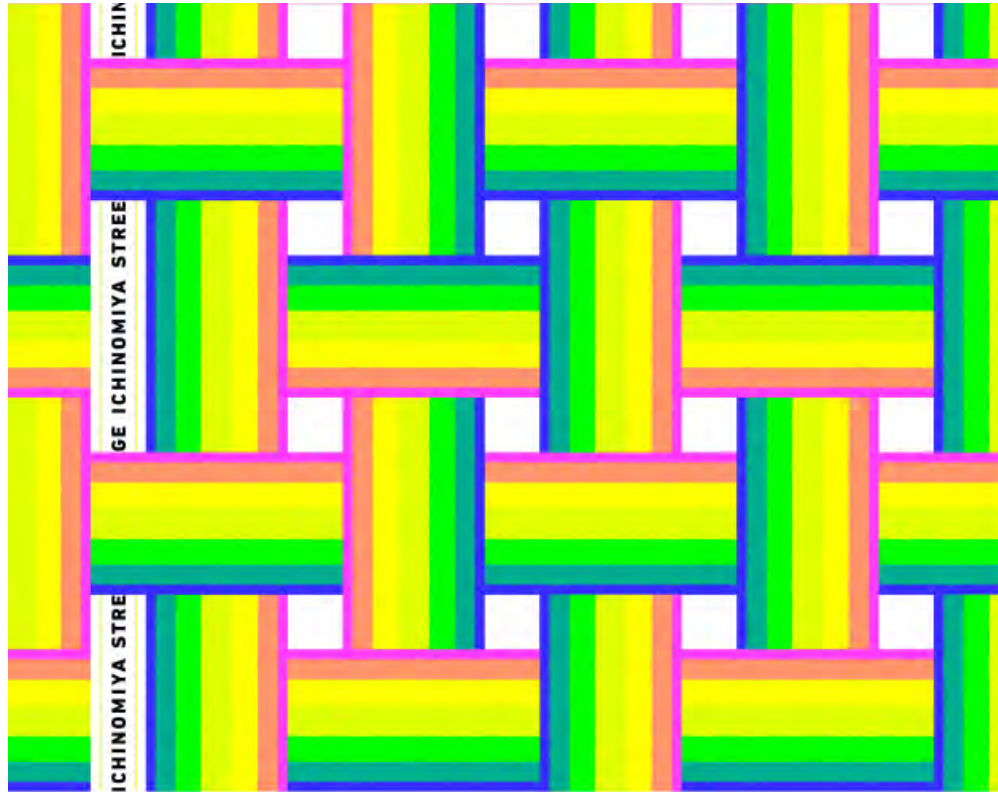
5. (3) 応募方法・期限

3 days応募期限

2022年4月30日

**※実施の意向があれば、
詳細が決まらなくても、
期限までにご応募ください**

**皆さまのご応募
お待ちしております**



**まちなかウォークブル社会実験
ストリートチャレンジ**